

■会社概要（平成26年3月31日現在）

社名	川本産業株式会社
設立	昭和6年1月
資本金	883,000,000円
従業員数	567名（内、契約雇用者数87名）

■株主メロ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
上場取引所	株式会社東京証券取引所 市場第二部
証券コード	3604

■事業所

- 本社 〒540-0022
大阪市中央区系屋町2-4-1
- 大阪本部 〒540-0012
大阪市中央区谷町2-6-4 谷町ビル5階
- 支社
- 東京支社 東京都江東区東陽6-3-2 イースト21タワー4階
- 営業所
- 仙台営業所 宮城県仙台市泉区泉中央3-18-4 オフィス21泉4階
 - 埼玉営業所 埼玉県加須市花崎5-31-1
 - 名古屋営業所 愛知県名古屋市中区城西3-12-12
 - 京都営業所 京都府京都市南区上鳥羽岩ノ本町82-1
 - 堺営業所 大阪府堺市堺区大浜南町2-5-8
 - 南大阪営業所 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20
 - 神戸営業所 兵庫県神戸市東灘区住吉南町3-3-5
 - 広島営業所 広島県広島市中区白島中町2-2
 - 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅東3-12-1 アバダンント95 7階
- 出張所
- 札幌出張所 北海道札幌市東区北24条東15-4-20 日弘ビル4階C号室
 - 横浜出張所 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央11-3
ウェルネスセンタープラザ南ビル2階A-2号室
 - 高松出張所 香川県高松市多肥下町21-1 香西ハウス1階
- 駐在所
- 鹿児島駐在所 鹿児島県鹿児島市皇徳寺台3-68-1
- 工場
- 大阪工場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20
 - 埼玉工場 埼玉県加須市花崎5-31-2

■役員（平成26年6月26日現在）

代表取締役社長	川本 功 武雄
代表取締役専務	佐々木 功 博
※取締役	岡田 博 朋
※取締役	水後 山 田 真
※取締役	山田 智 哉
※取締役	川本 智 信
※取締役	高尾 竜 一
※取締役	横田 茂 清
常勤監査役	日 俊 彦
監査役	親 上 泊

（注）監査役日上俊彦、親泊上明両氏は社外監査役であります。
※印の取締役は執行役員を兼務しております。

■執行役員（平成26年6月26日現在）

執行役員	上野 貴 史
執行役員	福井 誠



第84期報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

P.1	トップメッセージ
P.3	トピックス
P.5	財務諸表
P.7	会社概要

川本産業株式会社

〒540-0022 大阪市中央区系屋町二丁目4番1号 TEL.06-6943-8951



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インクを使用しています。



川本産業株式会社

証券コード 3604



代表取締役社長
川本 武

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて当社第84期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)事業年度を終了いたしましたので、事業の概況並びに主要事項をご報告申し上げます。



当期の業績はいかがだったでしょうか



高付加価値製品の販売拡充により増収を達成いたしました。円安に伴う輸入品の調達コスト増大の影響で減益となりました。

当社の当期の業績は、売上高は309億18百万円(前年同期比3.2%増加)、営業利益は85百万円(同80.3%減少)、経常利益は96百万円(同79.9%減少)、当期純利益は59百万円(同77.4%減少)で増収減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。
(国内向け売上)

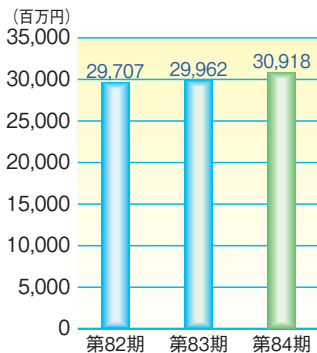
製品では、「感染予防関連製品」、「セットパック製品」、「ステリコットα」及び「口腔ケア用品」の重点販売製品の売上が当該製品の販売に注力した結果増加いたしました。

商品では、育児用品が販売体制の連携を強化したこともあり大手量販店向け販売が好調に推移しました。これらの結果、売上高は299億56百万円(同2.6%増加)となりました。

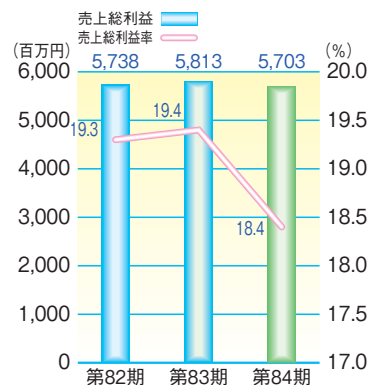
(海外向け売上)

国内製の高付加価値の衛生材料や医療用製品に海外からの調達品を加えた製品群を、幅広い市場に対して積極的に販売いたしました。一部地域で新規取引を開始し、主力の中近東市場における医療機器輸入登録制度改正への対応が落ち着いた事もあり、売上高は9億62百万円(同24.4%増加)となりました。

売上高



売上総利益・売上総利益率



利益面では、当期が前期に比して大幅な円安となったことに伴い、輸入品の仕入コストが増加し製品利益率が低下いたしました。この影響で売上総利益は57億3百万円(同1.9%減少)となりました。

経費面では、全般的な経費の節減に努めましたが、売上高に伴う運賃関係経費の増加もあり販売費及び一般管理費は56億18百万円(同4.4%増加)となりました。

営業外収益では、「デリバティブ評価益」(為替予約評価益)が41百万円(同70.9%減少)発生いたしました。

営業外費用では、「支払利息」及び「債権売却損」の合計額は71百万円(同12.3%減少)となりました。また、「為替差損」は21百万円(同77.0%減少)となりました。



次期の展望と今後の見通しについてお話しください



高付加価値製品の開発を一層進めるとともに、販売体制の再編により販売力の強化を図ってまいります

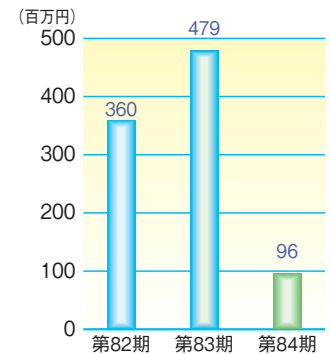
次期の見通しにつきましては、国際経済の先行き不透明感は継続するものと思われ、輸入品の調達価格の高止まりも予想されることから引き続き厳しい経営環境が続くものと思われま。

このような状況で当社は、開発面での付加価値が高く画期的な製品の開発の強化と生産面での合理化策を推進し、販売面では営業体制を医療機関向け(メディカル営業本部)と消費者向け(コンシューマ営業本部)の商品群別の2営業本部体制に再編することにより、販売体制の強化・効率化を一層進めるとともに、海外に向けても展示会への積極的な出展等を行い販売拡大を図ってまいります。

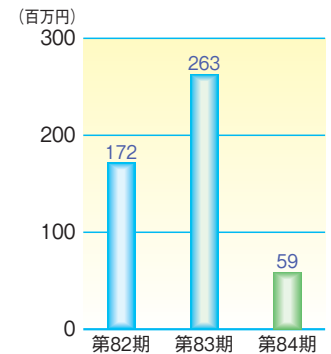
次期の業績につきましては、売上高304億25百万円(前年同期比1.6%減少)、営業利益2億66百万円(同212.9%増加)、経常利益2億71百万円(同182.3%増加)、当期純利益1億17百万円(同98.3%増加)を予想しております。

(注) 予想数値につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

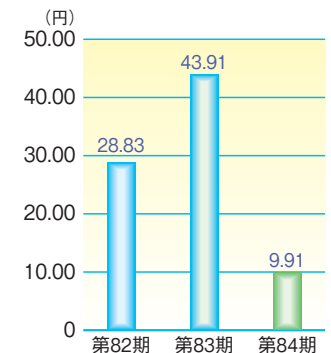
経常利益



当期純利益



1株当たり当期純利益



手術用ドレープ「*BelleFeuille*® (ベルフィーユ)」新発売！

高バリア性・低発塵性かつ軽量な、使いやすい2層の手術用ドレープ「*BelleFeuille*® (ベルフィーユ)」が発売されました。

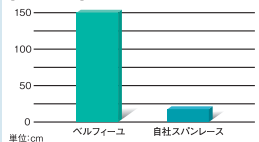
特長

- AAMIレベル4の高バリア性
- ほこりが出にくい低発塵性
- 薄くて軽量
- 使い勝手にこだわった仕様

高バリア性

AAMIレベル4の基準をクリア！
ポリエチレンフィルム面で血液体液の浸透を防ぎ、感染リスクを低減します。

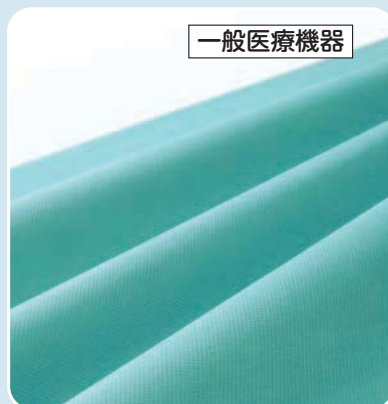
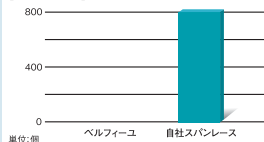
【耐水性試験】



低発塵性

ほこりがほとんど発生しないので、感染リスクを低減します。

【発塵性試験】



一般医療機器

第89回日本医療機器学会大会併設機器展示会
メディカルショー・ジャパン&ビジネスエキスポ2014
会期：2014年6月12日(木)～14日(土)
場所：朱鷺メッセ展示ホール (新潟)

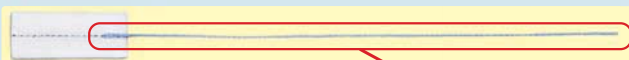
脳神経外科用シート「滅菌ベンシーツ® XR」新発売！

X線造影性に優れた新しい「滅菌ベンシーツ® XR」が発売されました。

特長

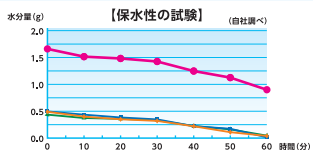
- 吸水性・保水性が高くクリアな術野を確保
- 厚みとクッション性で脳を愛護的に保護
- X線造影糸が長いので容易に判別が可能

一般医療機器



吸水・保水性

吸水性・保水性が高いのでクリアな術野を確保し、
脳組織の損傷リスクを低減します。



X線造影糸



特長

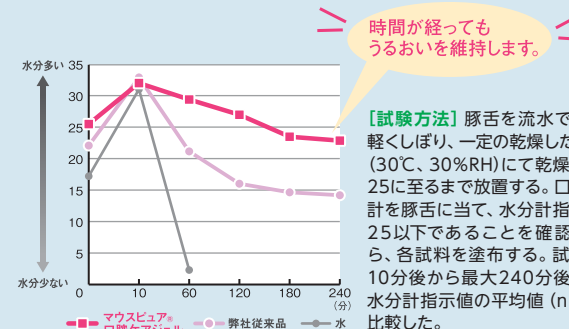
- 吸水性・保水性の高いシートでクリアな術野を確保し、
脳の損傷リスクを低減します。
- 厚みとクッション性のあるシートで脳を愛護的に保護します。
- X線造影糸が長く、容易に判別が可能です。

口腔保湿剤 マウスピュア® 「口腔ケアジェル」新発売！

口腔ケア製品「マウスピュア®」シリーズより「口腔ケアジェル」が発売されました。

特長

- うるおい長持ち
- 垂れにくく、スッと伸びる
- ジェルタイプで誤嚥しにくい
- ほんのりウメ風味



時間が経っても
うるおいを維持します。

【試験方法】豚舌を流水で濡らし軽くしぼり、一定の乾燥した環境下(30℃、30%RH)にて乾燥指標値25に至るまで放置する。口腔水分計を豚舌に当て、水分計指示値が25以下であることを確認してから、各試料を塗布する。試料塗布10分後から最大240分後までの水分計指示値の平均値(n=4)を比較した。



口腔化粧品

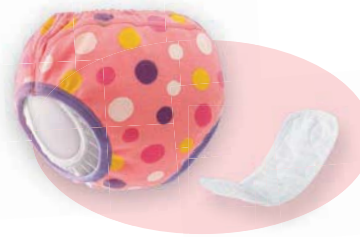
「FURERUMO®」シリーズより3製品新発売！

「FURERUMO®」シリーズより「横もれガードトレーニングパンツ」「おしっこ吸収パッド」「背中さらさら汗取りパッド」が発売されました。

横もれガードトレーニングパンツ
おしっこ吸収パッド

特長

- おしっこ一回分をしっかりと吸収
- モレをしっかりとガード
- トレーニング中ずっと使える



背中さらさら汗取りパッド

特長

- 表面は汗をかいてもさらさら
- 裏面は汗の状態がわかるじつとり



裏面
じつとり感
ママはかんたんに
チェック！

表面
さらさら感
汗をかいても
背中さらさら

資産の部

①**流動資産**
流動資産は167億13百万円で前事業年度末に対して28億13百万円増加いたしました。
「現金及び預金」が24億38百万円増加、「受取手形」・「売掛金」が4億93百万円増加したことが主な要因です。

②**固定資産**
固定資産は48億52百万円で前事業年度末に対して5百万円減少いたしました。
有形固定資産で「建物」が55百万円減少、無形固定資産で「ソフトウェア」が27百万円増加、投資その他の資産で「長期貸付金」が75百万円減少したことが主な要因です。

負債の部

③**流動負債**
流動負債は81億70百万円で前事業年度末に対して13億22百万円減少いたしました。
「支払手形」・「買掛金」が1億49百万円減少、「短期借入金」・「1年内返済予定の長期借入金」が10億70百万円減少、「未払法人税等」が1億40百万円減少したことが主な要因です。

④**固定負債**
固定負債は85億2百万円で前事業年度末に対して41億56百万円増加いたしました。
「長期借入金」が40億68百万円増加したことが主な要因です。

貸借対照表

(単位:千円)

	平成26年3月期 (平成26年3月31日現在)	平成25年3月期 (平成25年3月31日現在)
① 流動資産	16,713,911	13,900,845
② 固定資産	4,852,402	4,857,403
有形固定資産	3,521,495	3,584,997
無形固定資産	79,382	51,101
投資その他の資産	1,251,525	1,221,303
資産合計	21,566,313	18,758,248
③ 流動負債	8,170,412	9,492,560
④ 固定負債	8,502,391	4,345,980
負債合計	16,672,803	13,838,541
株主資本	4,715,361	4,739,876
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,192,597	1,192,597
資本準備金	1,192,597	1,192,597
利益剰余金	2,643,445	2,667,945
利益準備金	86,100	86,100
その他利益剰余金	2,557,345	2,581,845
配当引当積立金	5,000	5,000
別途積立金	1,000,000	1,000,000
繰越利益剰余金	1,552,345	1,576,845
自己株式	△3,681	△3,666
評価・換算差額等	178,148	179,830
その他有価証券評価差額金	178,148	179,830
純資産合計	4,893,510	4,919,707
負債及び純資産合計	21,566,313	18,758,248

株主資本等変動計算書

平成26年3月期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		利益剰余金合計			
					配当引当増立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	883,000	1,192,597	1,192,597	86,100	5,000	1,000,000	1,576,845	2,667,945	△3,666	4,739,876
当期変動額										
剰余金の配当							△83,885	△83,885		△83,885
当期純利益							59,385	59,385		59,385
自己株式の取得									△15	△15
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△24,500	△24,500	△15	△24,515
当期末残高	883,000	1,192,597	1,192,597	86,100	5,000	1,000,000	1,552,345	2,643,445	△3,681	4,715,361

	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	純資産 合計
当期首残高	179,830	179,830	4,919,707
当期変動額			
剰余金の配当			△83,885
当期純利益			59,385
自己株式の取得			△15
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,681	△1,681	△1,681
当期変動額合計	△1,681	△1,681	△26,196
当期末残高	178,148	178,148	4,893,510

損益計算書

(単位:千円)

	平成26年3月期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	平成25年3月期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
売上高	30,918,761	29,962,648
売上原価	25,215,096	24,148,922
売上総利益	5,703,664	5,813,726
販売費及び一般管理費	5,618,352	5,381,088
営業利益	85,311	432,638
営業外収益	113,605	227,519
営業外費用	102,708	181,052
経常利益	96,209	479,105
特別利益	62,259	57
特別損失	17,719	11,499
税引前当期純利益	140,749	467,663
法人税、住民税及び事業税	89,914	215,450
法人税等調整額	△ 8,549	△ 10,905
当期純利益	59,385	263,118

株式の状況(平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 16,000,000株
発行済株式の総数…………… 6,000,000株
株主数…………… 1,618名

大株主(平成26年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
巴株式会社	600	10.01
川本社員持株会	419	7.00
カワモト取引先持株会	302	5.04
川本 武	296	4.94
株式会社みずほ銀行	249	4.16
株式会社三菱東京UFJ銀行	249	4.16
株式会社TK	196	3.27
株式会社りそな銀行	175	2.92
川本 洋之助	170	2.85
第一生命保険株式会社	100	1.66

※1. 持株比率は自己株式(8,223株)を控除して計算しております。
2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。